

# tums ful+



## 川口さくら病院



- ▶ 認知症治療病棟
- ▶ 急性期一般病棟
- ▶ 回復期  
リハビリテーション病棟
- ▶ 地域包括ケア病棟

### 診療科目・備考

内科  
リハビリテーション科

精神科（認知症専門）  
二次救急指定病院



当院の精神科は「認知症専門」！  
認知症科部長 渡辺 慎治

川口市で  
唯一！

**D棟増築しました**  
三月一日オープン！

二〇二二年三月一日、D棟がオープン致しました。既存の認知症治療病棟・回復期リハビリテーション病棟・急性期一般病棟・地域包括ケア病棟に新たにD棟を加え、施設の充実化を図ったことにより、高齢者をターゲットにできる病院としてより一層の体制強化を図って参ります。増築工事にあたり、ご協力いただきました方々、並びに近隣の皆様に心より御礼申し上げます。



### 重度認知症デイケアとは？



重度認知症デイケアとは、医師や看護師などの医療的な知識をもとにお薬や環境の調整をし、認知症の方が日中安心して穏やかに過ごせる場を提供する、認知症専門のデイケアです。その人らしさを尊重した、お一人おひとりに合わせたプログラムを作成し、心身の健康を維持しながら現在の生活を継続していくために必要なケアを行います。「昼間に家から出て行ってしまうのが心配」「家でボーっとしてしまい何もしなくなった」などのご家族様の相談により利用が開始されます。医療保険が適用となり、介護保険の枠や介護度は問いません。また、厚生労働省が定める自立支援医療など、費用を抑制しながらのご利用も可能です。ご利用者

様は現在川口市内外に多数おられます。認知症の進行により問題行動が生じたことで、他の通所施設で利用が困難と判断された方でも、認知症に対する知識をもった当院の医療スタッフによる治療、適切な対応にて、利用の継続が可能となる事例も多くあります。また、症状に応じて入院時の早急な受け入れや退院時の在宅復帰へのサポート、介護施設やその他医療・福祉サービスをご紹介し、シームレスな支援に努めます。

認知症の方とご家族が住み慣れた地域で安心して暮らす事が出来る地域づくりに貢献していきます。現在新規ご利用者様を募集しております。詳細につきましては当院までお問い合わせください。

高齢化が急速に進み、認知症患者様が急増している今、認知症に伴う精神症状および行動障害などで多くの方が悩んでおられます。そこで当院の認知症治療病棟では、認知症に伴う精神症状および行動障害、強度の不安・興奮状態により自宅や施設などでの生活が困難になった患者様を対象に、適切な精神科治療とケアを行っております。認知症の患者様・ご家族様・介護の方が直面される問題点に、外来診療と入院治療を通じて向き合い、皆様が再び安定した生活に戻れるようスタッフ一同協力しながらサポートいたします。なお、入院は長期の療養を前提とするものではありませんので、患者様の状態・ご家族様の状況にあった退院後の生活支援についてもご相談を承っております。皆様が頼ることのできる病院、地域に密着した病院をめぐりたいと考えております。ご家族の行動・感情の異変にお困りの方はお気軽に当院までご相談ください。



埼玉県川口神戸 258-1  
048-283-1200



# tums ful+

タムスフル  
プラス  
2022.4

## タムス市川 リハビリテーション病院



▶ 回復期  
リハビリテーション病棟

### 診療科目

リハビリテーション科    ペインクリニック内科  
内科                                  外科  
整形外科

当院でも三回目の  
コロナワクチン接種を行っています！

これまで医事課は、患者様やそのご家族様に対して診察受付やお会計の際に窓口で接する機会しかございませんでしたが、新型コロナ感染症が流行するようになってからは、WEB面会の予約・手配、患者様への差入品の受配、地域にお住まいの皆様への新型コロナワクチンを安心かつスムーズに接種できるように設営を担当し、来院される様々な方々とお会いすることが大きく増えました。

病院の全職員が職種に隔たりなく一丸となって協力し合い、頑張っています。病院の「顔」として、またタムスグループの一員として、来院された方に少しでも親しみやすい印象を持っていただき、気軽に相談でき信頼される病院となるように「気」と「目」と「心」を配りながら、来院される方お一人おひとりに親切・丁寧に対応するよう努めます。



▲調理訓練



▲装具療法



▲おいしくできました



▲嚥下機器の導入

リハビリテーション科には五二名の理学療法士と二二名の作業療法士、そして九名の言語聴覚士がいます。この三職種はそれぞれ特徴があり、専門性を活かしながら患者様にリハビリを行っております。資格や手法は違えど、最善のリハビリテーションを提供するために多職種連携を図りながら日々の業務に取り組んでいます。今回は各部門の魅力的な取り組みをご紹介します。

## TOPICS



▲リハ科マネージャー  
岡部 翔一

### 言語聴覚士

高次脳機能障害をお持ちの患者様に、日常生活で注意・記憶・判断しなければならないことの訓練をするほか、発話が困難な患者様には言語訓練を積極的にを行っています。回復期では、嚥下障害のリハビリとして様々な嚥下機器を活用しています。嚥下機能が回復することで誤嚥性肺炎の予防となり、「食べたい」という気持ちに添えることができます。このように、患者様が食事を楽しめるよう一生懸命取り組んでいます。

### 作業療法士

患者様のその人らしさを大切にすることを第一にしています。そのため患者様の趣味や病前に行っていた興味・関心のあることを面接しています。入院期間中は、調理訓練を行ったり、楽器の演奏やその患者様に必要な家事動作訓練をたくさん行ったりして自信をつけていただき、充実した在宅支援を一生懸命がけています。掲載しているカレライスは患者様が片麻痺で調理したものです。とてもおいしいカレライスになりました。このように、その人らしさの再獲得をめざして参ります。

### 理学療法士

患者様が入院してすぐに装具の検討をします。部門内で患者様の状態に対して積極的にコミュニケーションを図り、機能回復訓練に取り組んでおります。患者様の早期離床、歩行再獲得に向けて二人介助でも歩行訓練を導入しています。このように、いち早く日常生活が送れるように一生懸命取り組んでいます。



千葉県市川市柏井町 4-229-4  
047-320-7111 (代表)  
047-339-7530 (地域連携室直通)

tums  
TOWAKI UNIVERSAL MEDICAL SERVICE

